

## 児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

令和3年3月27日公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	○		法令基準以上の広さを確保し、利用する児童の人数に合わせて机の配置換え等を行っています。また余暇スペースを活用して、読み聞かせなどを行っています。	今後も人数とスペースの適正を図り、机の配置等の環境を整え、蜜を避け、適切な距離の確保に取り組んでまいります。
	2	○		法令の基準を満たし、全体が見えるよう、柔軟な見守りができる体制に努めています。指導は個別であっても、全員で声を掛け合い、チームとして行動し対応しています。	今後も同様に適切な人員を配置して、より良い療育環境の提供に努めていきます。
	3	○		事業所内はすべてフラットで、空間は児童にわかりやすいように配慮し活動しやすいよう努めています。児童が移動する際は職員が付き添い導線の確保や安全の確保、快通への配慮に工夫しています。	生活空間は、児童の状況に合わせて、分かりやすくシンプルであるよう努め、特性に応じた合理的配慮も考慮しています。
	4	○		日々の清掃や片付けで清潔を保ち、感染症予防のため、清掃には消毒液を使用しています。災害への配慮から、背の高い棚等も設置しないよう安全に配慮し、また児童の手の届く範囲に、本や玩具を配置するように心がけています。衛生に気をつけ、嘔吐処理セットの準備を行い、職員への周知を行っています。	今後も感染症予防のため、清潔を保ち、常に換気を行うなど、衛生環境の意識を高めていきます。学習と余暇のメリハリをつけるように心掛け、居心地の良い空間演出を心がけていきます。
業務改善	5	○		毎月のリフレクション会議には全員で参加し、業務改善について話し合っています。	今後も定期的な会議にて課題と目標を設定し、情報共有と業務改善に努めてまいります。
	6	○		毎年アンケートを実施して保護者様のご意向を職員と共有し、業務改善について意見を話し合う機会を設けています。	今後もアンケートを継続し、年1回の評価表だけでなく、日々の会話の中で保護者様のご意見を耳を傾け業務改善に繋げてまいります。
	7	○		評価の結果は公式 Web サイトで公開しています。	今後も毎年 Web 上で自己評価の公開を行なってまいります。
	8	○		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者からの評価受審については今後の検討課題と致します。
	9	○		今年度はコロナ禍のため、外部研修への参加機会がありませんでした。事業所内では本社配信の動画研修を導入した社内研修などを開催して、全職員が参加し、資質向上に努めています。	今後も事業所内研修を継続し、コロナ収束後の外部研修の機会には積極的に参加し、研鑽を行ってまいります。
適切な支援の提供	10	○		適切にアセスメントを行い、児童の状況と保護者様のご意向を伺って、支援計画を作成しています。	今後も定期的なアセスメントを行い、児童や保護者様のご意向等を踏まえた支援計画書の作成に取り組んでまいります。
	11	○		会社で統一したアセスメントシートを使用しています。	今後もアセスメントツールの活用で、必要な事項の情報収集を正確に行い、状況の把握に努めてまいります。
	12	○		児童の発達状況や保護者様のご意向を踏まえ、ガイドラインの示す支援内容から選択した、具体的な長期、短期に別れた具体的なわかりやすい支援計画を作成しています。	今後もガイドラインに沿って概ね半年ごとにモニタリングを行い、見直しを行い、児童や保護者様のご意向を反映した具体的な支援内容、個別支援計画を作成してまいります。ガイドラインにある項目の「地域支援」はまだ不十分だと思われるので、今後「家族支援」と共に、勘案してまいります。
	13	○		ケース会議で職員の共通理解を図り、定期的な支援会議で内容を決定し、計画に沿った支援に努めています。	今後も全職員で支援計画に沿った支援を行ってまいります。
	14	○		職員一人ひとりが意見を言える環境作りに努め、全員参加のケース会議で周知・共有を行い、チームで立案しています。	今後も活動プログラムは全職員で話し合い、一人ひとりの得意分野を活かした立案・計画・検証してまいります。
	15	○		記録をもとに児童の様子を見ながら会議で定めた活動から職員の裁量で選択し、季節や時期に合わせて固定化しない活動を行う工夫をしています。	今後も活動が固定化しないよう、工夫と必要に努めていきます。
	16	○		個別の活動を主軸に置きながらも、集団への活動参加を促す支援計画を作成しています。季節の行事等の集団活動を促すことで、ルールや他者との関わりを学ぶ機会を作るように心がけています。	今後も児童の成長に合わせて、個別と集団活動を適宜組み合わせる支援計画を作成してまいります。
	17	○		毎日朝のミーティングを行い、内容をノートに記録を残し職員間で周知しています。	今後も支援内容や役割分担について情報共有のうえ、支援に取り組んでまいります。
	18	○		当日にできない時は後日打ち合わせを行い、職員全員が気づきや意見を言い、共有する時間を大切にしています。児発管にその都度報告し、目標設定に繋がっています。	今後も毎日振り返りを行い、情報共有に努め、より良い支援を目指してまいります。
	19	○		療育日誌を支援者が記入し、他の職員も目を通し、支援の継続に役立てています。	経過記録で児童の変化を共有し、支援に活用してまいります。
20	○		定期的なモニタリングによって児童の状況や、課題などを確認し、保護者様のご意向を踏まえて、児童発達支援計画の作成や、見直しを行っております。	今後も定期的なモニタリングを行い、児童の現状把握と保護者様のご意向も伺いながら、計画の見直しを判断してまいります。	
関係機関や保護者との連携	21	○		支援の状況を確認している児童発達支援管理責任者が担当者会議に参画しております。担当者会議の内容は、職員間で共有しております。	今後も定期的なモニタリングを行い、必要時には期間に関係なく支援計画の更新を行い保護者様にもご説明してまいります。
	22	○		今年度は、コロナ禍のため密な連携や訪問などが難しいところですが、必要に応じて連携を行っています。	今後も関係機関との連携を図り、児童の情報共有を積極的に行い、連携した支援に努めてまいります。
	23	○		現在、特別な医療ケアが必要な児童は在籍しておりません。	事業所は重症心身障がい児以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し受け入れ態勢、事業所のあり方について模索してまいります。
	24	○		現在、特別な医療ケアが必要な児童は在籍しておりません。	事業所は重症心身障がい児以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し受け入れ態勢、事業所のあり方について模索してまいります。
	25	○		移行の際には保護者様の許可を得た上で保育所や幼稚園、こども園等との間で連携を取り、見守りなどの情報共有や意見交換を行っています。	今後も関係機関と連携して情報提供と相互理解を図ってまいります。
	26	○		小学校などへの進学時には保護者様のご意向を確認したうえで、進学先との情報共有に努め、相互理解を図っております。	今後も移行時期には連携を図り、情報共有と相互理解を継続してまいります。
	27	○		現在は、電話で助言をいただいたり情報交換を行っています。必要な事例についても連携し、助言を受けています。	コロナが収束後は、専門機関で行われる研修にも積極的に参加し、助言を受け、支援に関する情報は職員で共有して、密に連携を図っていただけるように努めてまいります。
	28	○		今年度は、コロナウィルスの流行により、本来予定していた活動も自粛せざるを得ませんでした。	コロナ収束後は、保護者様のご意向を伺いながら地域児童との交流の機会について検討してまいります。
	29	○		例年子ども部会等には積極的に参加しておりますが、今年はコロナ禍で参加機会がありませんでした。	コロナ収束後は、積極的に参加し、持ち帰り、事業所内研修で情報共有を行ってまいります。
	30	○		日々の連絡帳や、面談・送迎の際の会話を大切に、共通理解を深めて支援に繋がっています。連絡帳で保護者様からの相談を受けるとともに、その都度事業所からもご相談への対応や児童の様子等をお伝えしています。	今後は、小さな変化でも保護者様にお伝えするように努め、保護者様との情報共有に努めてまいります。
31	○		連絡帳で悩みや相談が書かれているときは面談をお勧めし、不安を取り除くようにするなど家族支援に努めています。	今後も保護者様のお役に立てるよういつでもできる限り丁寧にご対応させていただきます。	
保護者への説明責任等	32	○		契約時に契約事項と共に詳しくご説明を行い、質問にもお答えしています。契約時のみならず、いつでも質問やご相談に対応しています。	今後も契約時のみならず分かりやすく丁寧な説明を心がけてまいります。
	33	○		ガイドラインから当該児童に必要な支援を選択し、「児童発達支援計画」を作成しています。支援内容のついて、契約時や担当者会議の際に説明を行い、同意を得ています。	計画を作成し、保護者様には丁寧な説明を心がけてまいります。
	34	○		連絡帳や電話、送迎時、面談を行い、子育てのお悩みや質問・ご相談に適切な回答・助言を行うなどの支援に努めています。	今後も保護者様からのご相談には適宜対応して、お悩みの解決に努め、その内容を職員間で情報共有し、共通理解に努めてまいります。
	35	○		今年度は、コロナウィルスの流行により、本来予定していた活動も自粛せざるを得ませんでした。	現在は個別対応となっておりますが、コロナ収束後は、保護者様のご意向を図りながら、保護者様同士の連携、保護者様と職員との交流機会等を検討してまいります。
	36	○		苦情窓口を定め、ご意見箱を設置し、迅速かつ適切な対応ができるように整備に努めています。保護者様からご相談や申入れがあった場合は解決に向けて迅速に対応し、全職員と情報共有を図るよう体制を整備しています。	ご意見に対しては今後も迅速な対応に努め、問題解決を図ってまいります。
	37	○		公式 Web サイトのブログや SNS で情報を発信し、季節ごとに「お便り」を発信しております。	今後も継続して情報発信を行ってまいります。
	38	○		個人情報の秘匿について、全職員が常に意識して業務にあたり、その使用や処分は細心の注意を払い、保管も鍵付きの書庫で保管しています。	個人情報の取り扱いは、今後も細心の注意を払ってまいります。
	39	○		保護者様とは、送迎の時間の会話や連絡帳での交流を大切に、また児童の状況や個々の特性に配慮し、絵カードや必要なツールを利用して、わかりやすく情報を伝えるよう配慮しています。	今後も正しく情報が伝わるよう心がけ意思の疎通に努めてまいります。
	40	○		今年度はまだコロナ禍の状況にあり地域の方を交えた交流の機会が企画できておりません。	コロナ収束後は、積極的に参加し、持ち帰り、事業所内研修で情報共有を行ってまいります。
	非常時等の対応	41	○		各種マニュアルを策定し、事業所の目立つ場所に掲示して保護者様にも周知させていたいただき、定期的な訓練も実施しています。
42		○		定期的な避難訓練を毎年実施しております。	今後も定期的な避難訓練を継続して、保護者様にもご報告してまいります。
43		○		事前のアセスメントにより確認しており、対象児童などの詳細を全職員が把握しています。	今後も情報は全職員が把握して、緊急事態には適切な対応が行えるよう配慮してまいります。
44		○		事前のアセスメント等でアレルギーを把握し、アレルギー対策として、教材には牛乳パック等を使用しないように配慮しています。特にアレルギーの強い児童に関しては、保護者様を通して医師の指示を伺っています。	現在は食物の提供は行っていませんが、今後のアレルギーの可能性を想定して対応を検討してまいります。
45		○		ヒヤリハットは都度記録し、全職員が閲覧できるようファイリングしています。ファイルに事例を綴るだけでなく、ミーティングも行い再発防止に努めています。	今後も、定期的なファイルに目を通し、再発防止と未然防止にも努めてまいります。
46		○		例年は外部の虐待防止にも積極的に参加して、事業所内で周知を行い、周知徹底しています。本年度はコロナ禍のため研修機会がありませんでしたが、資料をもとに事業所内研修を開催し、認識一致に努めました。	コロナ収束後の研修機会には積極的に参加し、新しい情報で事業所で研修を行い、職員間での情報共有と認識一致のうえ、虐待防止に努めます。
47		○		身体拘束に関する基本方針は事業所内や利用契約書に記載しています。生命または身体を保護するために、やむを得ず身体拘束を行う場合は、予め文書によって保護者様に同意をいただいたうえで支援計画にも記載してまいります。	今後も原則として身体拘束を行わない基本方針を守り、児童の安全を第一に考えた、必要な場合に躊躇って行われ、その具体的なケースの説明に努めて、保護者様に書面にて同意を得たうえで支援計画にも記載してまいります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。